

小規模拠点のネットワークによる子育てにやさしいまちづくり

井手町
井手・多賀地区

事業の概要・背景

【概要】

○地域の事業者や子育てサークルなどの各種団体と連携しながら、子育て支援センター等の子育て世帯が利用する施設の機能強化に取り組む。また各施設同士も連携し、小規模な市町村ならではの強みを活かし、多様な子育て支援の枠組みを町内で多世代が利用する既存の施設にも展開することで、まちの中心となる施設がない中で、小規模な拠点同士の連携によるネットワークの構築及び地域コミュニティと子育て世帯の関係の強化により、町全体として子育てしやすいまちの実現を目指す。

【背景】

○買い物(JA)、子育て支援センター、公園等の施設が点在しており、子育て世帯等の集まる拠点がいないため各拠点の連携による機能の拡充や更なる展開が必要である。
○子育て支援の核となる子育て支援センターについては、利用経験がない方にとっては「敷居が高く利用し難い」との声もあり、すべての子育て世帯の方が子育てに関する不安を解消できるよう、施設の利活用を促すとともに、地域が一体となった子育て支援の仕組みづくりが求められる。

主な事業

- ◇: 交付対象事業
- ◆: 関連事業
- ◇官民連携交流促進事業
- ◇子育て支援センター機能強化
- ◆子育て世帯の経済的負担軽減 等

成果指標

- コミュニティづくり等の取組参加者数
- 新たに設立された子育て世代を含む地域団体数

令和2年(基準値)	令和7年(目標値)
0人	360人
0団体	2団体

モデル性に係る取組(実現性・継続性・創意工夫)

ポイント

まちの中心となる施設がない中で、小規模な拠点同士の連携によるネットワークの構築及び地域コミュニティと子育て世帯の関係の強化により、町全体として子育てしやすいまちを実現

- 子育て支援のための各拠点のネットワーク構築と地域コミュニティの活性化
子育て世代や地域の住民ニーズを踏まえ、子育て支援センターを中心に、町内の既存施設の活用や事業者との連携により、大きな投資をすることなく人が集まりやすい環境を整え、新たな遊び場、学び場、買い物の場の拠点を創出し、各拠点とのネットワークの構築や地域コミュニティの活性化により、地域全体で子育てを応援していける体制を構築する。
- 誰もが利用しやすい子育て支援センターの実現と子育て世帯が抱える不安解消への取組
誰もが利用しやすい子育て支援センターの実現のために施設の機能強化等を図るとともに、町が実施する経済的負担軽減の取組等について、効果的な情報発信の仕組みやICTも活用しながら子育て世帯が抱える不安解消に取り組む。
- 新たな拠点となる道の駅
新たに整備される道の駅をはじめとする新市街地エリアの各施設についても、本事業で構築した拠点同士のネットワークに組み込み、子育て環境のさらなる充実を図る。

